

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	D & C SS	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **5 1/2** インチ

研磨剤

番

比較対照ボール：ベンデッタ 357 マグナム

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

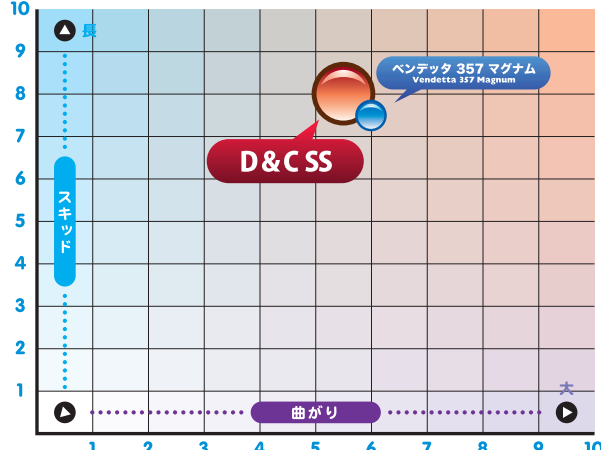
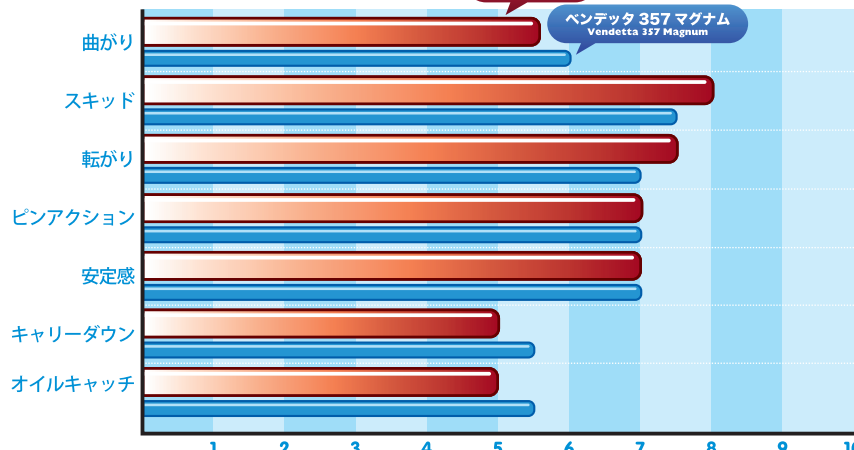
PAPからピンとの距離 **4** インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	Light Oil	Light to Medium	Medium Oil	Medium to Heavy	Heavy Oil	バックエンドリアクション	Smooth	Smooth to Arc	Arc	Arc to Sharp	Sharp Angle	レンジス	Early Roll	Early to Med	Med-Lane	Med to Late	Late Roll
------------	-----------	-----------------	------------	-----------------	-----------	--------------	--------	---------------	-----	--------------	-------------	------	------------	--------------	----------	-------------	-----------

ボールの評価

ダイノタン社から同時発売したSA(ストロング・アーク)とSS(スキッド・スナップ)。バックエンドで攻撃的なリアクションを十八番とするコロンビア社のコアテクノロジーを得て、今回、D & C SSの発表です。同時発売のSAと同コア形状及び数値も同じですが、このSSは**スキッドスナップリアクティブを採用し、手前のクリーンな走り**と**バックエンドでの過激なリアクションを求め作り上げられています**。投球した感じは**リコシェ・ラッシュよりややキャッチ力を強めて、バックエンドリアクションを角が出るか出ないかぐらいの柔らかいリアクション**に感じます。ドライゾーンでのキャッチ力と反応はすごく感じが良く、私の場合では中目にオイルが多くても削れたラインがあれば気持ちよく出し戻しすることができます。やはり**攻撃的にラインを攻めたい時に使うボールの性能に感じます**。対応コンディションはミディアムライトからミディアムで、キャリーダウンしたコンディションには不向きです。このSSは**軽量ポンドも用意し、女性にも扱いやすく使用して頂けるようにも考えられています**ので、「今までボールが欲しかったけど、重さがなかった。」とお悩みの方にも検討して頂けたらと思います。SAはストロング・アークなリアクション、SSはスキッドスナップ。同コアであってもカバーストックで全く違った性格に仕上がっていますので、自分の求めるリアクションで選択されるのが良いでしょう。

特記事項

全く違った性格に仕上がったSAとSS。ダイノタン社とコロンビア社合作のポテンシャルを是非お試しください。